

ゆんたく

2024年9月
都島
Vol.39



理事長 巻頭MESSAGE

[特集]
春の運動会
保育実践研究「優秀賞」受賞

都島友の会 採用について
地域と都島友の会

etc.

愛おしさ、やさしさ、思いやり、

してみようとする力、

したいという思い、一歩踏み出したい、



AIという新たな技術に出会う私たち：

AIって、ほんの小さなチップに膨大な情報が入っているのですね。この数年、その技術は劇的に進化しています。AIは人間に近い、場合によれば人間の数倍もの知能をプログラムに組み込まれ、便利さを提供しています。

しかし人間は一人ひとり生まれながらに独自性を持つていて、育まれる経験、環境によって違う良さがあると思います。私たちの保育現場、高齢施設においてもAIを一部とするICT化がどんどん取り入れられていますが、職員が働く環境作りであったり、手間を大幅に省くことができ、業務の効率化が進み、労働時間、休憩時間が確保できるようになりました。

通信技術の進歩により、今よりプライベートの時間が増えて人間関係のつながりが深くなるでしょう。対人関係の競争が少なくなり、今以上に優しさ、人間性を大切にされるでしょうか。社会性、道徳性、善悪を判断する力を育むことができるでしょう。

AIの目覚ましい進歩に助けられながらも、それは置き換われない一人ひとりの独自性が失われないだろうか：老婆心ながら考えます。

私は70数年前に手塚治虫先生の「鉄腕アトム」に出会いました。あの心優しいロボット「アトム」に憧れたものです。

AIが導入されることで「アトム」が出現するでしょうか。

当法人が導入している通信技術の一部を紹介しますと、保育施設で約20年以上前からICTシステムを導入し業務効率の改善を図っています。保育書類の内容も都度見直すことで少しでも無駄を省き必要事項の集約ができるように努めているところです。書類だけでなく園児の登降園時間、職員の出退勤などの管理も同じシステムを使っています。

今年度からは毎月の「おたより」を紙面に印刷する作業からメール配信に切り替えたことで職員のおたよりを折る→園児のかばんに入れる時間を削減し対面時間をより増やせ、またペーパーレスなど環境面にも良いことを実感しています。

近年では卒園アルバムのデジタル化、LINEやInstagramなどのSNSを導入することで広報活動が大きく広がりました。

高齢施設では10年以上前から介護機器走行リフトを導入し利用者のリスク軽減と職員の腰痛予防にも役立っています。

食事の場面でもタブレット端末を活用することで、利用者の方を見守る場所での記録管理が可能となり、利用者と接する機会が増加し食事介助にゆとりを持つことができました。

令和になると浴室移動機器を導入することで職員三人介助から一人介助への移行が可能となりました。

職員労力の軽減は大切なことですが、多種の通信



傘寿のお祝い会 渡久地理事長・主任一同

技術の導入は事務的、労働力軽減の補助の一部を担ってくれるものだと信じたいです。

人間関係の中でしか築くことができない人との出会いや触れ合いが小動物、植物、食物、自然の営みへの優しさに繋がり、一人ひとりの心を育んでいく環境を大切にしていくために、人の存在と進化を続ける多くの技術が共存できれば、なお、すばらしいでしょう。そんな未来を大切にしたいと思います。

ナツつてたのしい

ごとだらけ！



友渕児童センター



都島児童センター



部屋いっぱいに模造紙を敷いて、ダイナミックにボディペインティングを楽しみました。



都島乳児保育センター



都島第二乳児保育センター



そーっとプールに浸かってみよう。でもやっぱ
り「冷たーいっ！」みんなで大はしゃぎでした♪

5

僕にもやらせて～

チョッキン！

都島児童館



児童館は4施設あるので施設ごとに活動も色とりどり。夏休みの活動は水遊びはもちろん、オリジナルTシャツ作りなどの制作活動や、遠足なんかも思い切り楽しみました！

夏の運動会 UNDOKAI

幼保連携型認定こども園

桜宮児童センター



力強い走りやダイナミックな動きで見ている人を驚かせました。
みんなで心を一つにし、運動会の最後を飾ったマーチング。さすが年長組です！

例年は9月に行つていましたが、7、8月の猛暑の中で取り組むこの負担を考慮し、6月に開催しました。園児の負担を減らすために、保育者の方への説明、グラウンドの大きな行事の変更、園児の負担を減らすための工夫などを重ね、計画・実行し、また、取り組みはちょうど良い気候で進めやすく、何度も「時期を見直してよかったです」という会話をすることを思いました。最後に、中野地域の皆様の温かさに心より感謝申上げます。



3さい



おもいきり走りぬけるかけっこ、笑顔で楽しく踊る遊戯、運動会を楽しみました。

4さい



チームで協力することを知ったリレー、遊戯は振り付けや立ち位置をすぐに覚えキラキラとした表情で自信に溢れています。

松島保育園

今年の沖縄の夏は暑い！7年ぶりの猛暑日が続いています。沖縄の保育園・学校施設では熱中症対策で長い時間の園外活動が難しくなっています。そんな中、松島保育園のさくら・ひまわり組は熱中症に気をつけながら、7月13日に渡保育園でお楽しみデイに参加。朝はカレーライスづくりで野菜切りをしました。子どもたちは好きな野菜を選び、包丁をもってチャレンジ！「人参6個切れた！」と嬉しそうに友達に報告する子どもの姿がありました！その後、皆で石畳を散歩。石畳の石の大きさや形に興味深々。「おにぎりみたいな石がある！」、「この石、顔より大きい！」と散歩中に色々な発見を楽しんでいました。



渡っここの夏とはいえば、ボディペインティング♪子どもたちは始まる前から大はしゃぎで暑さに負けず、お友だちや保育者と絵の具をつけ合って園庭をたくさん走り回って楽しんでいました！ボディペインティングの締めには水風船遊びで盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。



おなまきわの夏

保護者会役員懇談会

令和6年7月23日(火)
午後4時～5時
場所 幼保連携型認定こども園
都島児童センター
4Fホール

法人施設の保護者会役員様にご参加いただき、「懇親会」は、新型コロナウイルス感染症拡大によりここ5年ほど開催を見送っていました。ようやく各感染症も落ち着き、令和6年7月に、認定こども園・保育園・児童館合わせて10施設総勢19名の役員様にお集まりいただき、久しぶりの開催となりました。

開催場所の幼保連携型認定こども園都島児童センターに初めて入館される方も多く、少し緊張した雰囲気でスタート。初めの自己紹介では「各施設の活動を勉強できれば・・・」というお声も聞かれ参加の皆様の真摯な姿勢が伝わりました。

動や施設との協力による楽しいイベントの開催について、「台本なしのマイクバトン」でした。が、さすが！各保護者の代表の皆様は、それは丁寧に時々ユーモアを交えて、職員の働き方にも気遣っていたときながらの報告となりました。

最後は法人事務局の寄瀬局長より「保護者の皆様への感謝と子どもたちの未来を見守りましょう！」との話で終わることができました。

終了後は、都島児童センター「チ見学会」をしながら知らなかつた保護者同士が楽しく話をしながら園で待つお子様のお迎えに向かわれました。



成育児童センター

保護者会主催イベントとして5月中旬に「茶話会」、7月下旬に「親子で楽しめる室内遊び」を開催します。子ども同士だけでなく保護者も交流を深めています。

ともパラの夏



保護者参加行事も盛り上がり！



都島友済乳児保育センター

保護者参加行事「ともパラの夏」を開催。園内で楽しい縁日をして盛り上りました。



短冊に願い事を書いて、保護者の方と一緒に飾りました！保育参加ではお父さん・お母さん先生とたくさん遊んで、絵本も読んでもらいました。



都島第二乳児保育センター

7月11日に園での夏祭りを開催しました。保護者の方にもお手伝いしていただき、みんなで盛り上がった一足早い、夏祭りとなりました。



都島児童センター



保育参加



LOCAL

地域と都島友の会

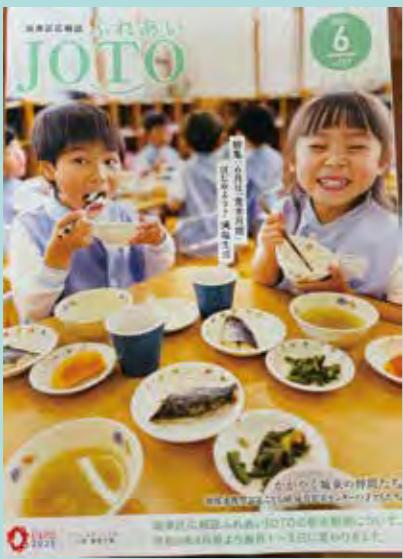
MIYAKOJIMA TOMONOKAI

都島神社祭り

間近で見るお神輿にクギヅケ!
だんじりの迫力の前には乳児も小学生も
みんな驚きのまなざしでした!



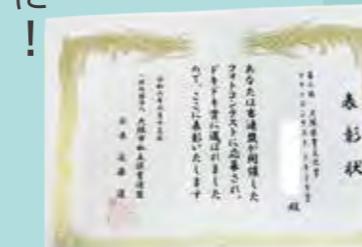
区役所から「食育の場面」の写真提供の依頼を受け5歳児クラスの給食の場面を撮影しました。この日の給食は「太刀魚の塩焼き」。普段から「魚料理が好き」と言っています。給食の時間が楽しい時間に収なることで栄養がさらに吸収されていますね。



今回応募した写真は昨年度の5歳児がお別れ遠足で「六甲山スノーパーク」に出掛けたときの写真です。普段はなかなか味わうことのできない雪の感触を存分に楽しみました。



幼保連携型認定こども園
大阪保育文化賞
第8回 フォトコンテスト
「ドキドキ賞」受賞 &
城東区広報誌「表紙」に!



幼保連携型認定こども園 成育児童センター



Seiiku文化祭

成育地域活動協議会主催「Seiiku文化祭」に5歳児が和太鼓演奏で出演しました。今年は「お祭り忍者」の曲に合わせて元気な掛け声と太鼓の音が響きました。休日の行事の開催でしたがたくさんの保護者の方が応援に駆けつけてくださいました。

職員同士の交流を大切に。



Check

都島友の会のInstagramができました！

↓のQRコードからチェックしてみてくださいね！各園ごとのInstagramも続々開設していますので【公式】社会福祉法人都島友の会のインスタページのフォロー中から各園のページもCHECK！



都島乳児保育センター 主任 林 大介



園に自分の居場所があり安心して過ごすことができ、大好きな友だちや保育者と関わることを喜べる・・・すべての園児（保護者）にとって園がそのような場所でありますように。また、そのためにも、わが園の大切な職員が安心・安全な教育・保育が行えるように全力でサポートしていきます。

令和6年度より、ひがみや児童センターから都島乳児保育センターへ異動となりました。0～2歳の保育施設に配属となるのは初めてのことですが、乳児期の保育がどれほど大切なことであるかを改めて感じる毎日です。親切、丁寧を心掛け、保護者の方と共に子どもたちの成長を喜びたいと思っています。

ひまわり交流会

職員の厚生活動は「比周会」を通して法人の職員間で交流する機会をもってきました。昨年度までは夏の時期に大きな会場をお借りして交流する機会を設けていましたが今年度は趣向を変えて比嘉正子地域貢献事業研修センター3階で「ひまわり交流会」を開催。平日の夕方からの集まりということもあり年に3回、交代しながらの参加になります。第1回目は1～4年目、2回目以降は5年目以上の職員を対象に開催。

理事長からは“法人の歴史”についての講話があり、そのあとは夕食タイム。年数の近い職員が集い近況を報告しあっているとあっという間にお開きの時間に…。

このような職員のつながりを大切に法人としてのチームワークに磨きをかけていきたいです。

みずき会歓送迎会

みずき会というのは、法人管理職を担う職員の集いです。なぜ、みずきなのかな？というと二代目仲田理事長が花水木という花が好きであったため、花水木のような明るく笑顔の花が咲く会になれば。という想いが込められています。さて、別ページに掲載の通り、特別養護老人ホームひまわりの郷・デイサービスひまわりの施設長として西平新施設長、こども発達サポートステーションそれいゆの施設長として中島新施設長が新たにみずき会の一員になりました。

そして、出会いもあれば別れもあり…。

それいゆの櫻井元施設長、デイサービスひまわりの仲田元施設長、そしてひまわりの郷、木幡元施設長が退職となり、職員やご家族からのメッセージ動画や、若かりし頃の写真もスクリーンに上映し、おいしい食事をいただきながら懐かしむ時間となりました。



募集職種	保育教諭 及び 保育士
採用人数	30名程度（各施設2名程度）
提出書類	履歴書・成績証明書（郵送の場合…試験日7日前まで持参の場合…試験日2日前まで）
試験内容	面接のみ
試験場所	都島児童センター（都島区都島本通3-4-3）
開始時刻	全日程9:30～
応募資格	保育士資格及び幼稚園教諭免許取得者 または令和7年3月資格取得見込み者

上記以外の日程もご都合に合わせて面接を実施いたします
下記の電話番号またはメールアドレスまで
お気軽にお問合せください

採用の流れ

1. 施設見学
2. 試験申込
3. 試験（面接）
4. 採用
5. 研修

毎週 月・火曜日に見学会開催中
まずは施設の雰囲気を体験してください！

見学申込みはこちら▶



各施設のホームページにて紹介動画を公開しております
ぜひご覧ください！

社会福祉法人 都島友の会
本部事務局（担当：木下）
TEL.06-6921-0321
saiyou@miyakojima.or.jp

新しい一步を踏み出してみませんか



就職フェア

少子化に伴う学生数・養成校の減少をはじめここ近年のリクルート活動は難しい課題に直面し厳しい状況が続いている。

当法人のブースに足を運んでくれ熱心に耳を傾けられる学生の方に「少しでも法人の魅力を知ってもらいたい！」と自然と職員の話す姿勢にも力が入ってしまいます。

就職フェアへの出展に限らず各施設のホームページや法人のLINE、Instagramを通して様々な情報を発信していますのでぜひご覧ください。



園見学会



6月23日(土)都島児童センター「園見学会」10名以上の学生の方が参加され園内見学後には「おまつり」！ゲームコーナーの他にプラ板製作などピチ職場体験をしていただきました。

幼保連携型認定こども園 桜宮児童センター 副園長 山下知子



4月1日付けで、「こども発達サポートステーションそれいゆ」の施設長に就任した中島進です。よろしくお願ひします。就任して4ヶ月が経ちますが、子ども達から「えんちょうせんせー」と呼ばれて、少しずつ馴染んできてくれるのが嬉しい今日この頃です。子ども達には笑顔で、保護者の方とは共に課題に向き合いながら、子ども達の成長を見守っていきたいと考えています。

これまで行政の立場で「障がい福祉」を担っていましたが、施設長として現場は初めての経験で多少の不安や戸惑いはありますが、都島友の会が掲げる地域福祉の拠点となって、共に支え合う、地域づくりに向け、微力ではありますが一翼を担っていければと考えています。

こども発達サポートステーション それいゆ 施設長 中島 進



高止齋者施設記

新施設設立昇格者

組織編制大紹介



訪問介護ひーぐるま
管理責任者 田中 浩司

訪問介護ひーぐるまの訪問介護管理責任者に任命されました田中浩司です。ひーぐるまは事業を開始して今年で5年目になります。事業を開始した頃から変わらずの思いとして、ひーぐるまの信頼を築くことをこれからも続けていけたらと思っています。ひーぐるまの信頼というのは法人の信頼に繋がっています。7月より高齢施設の組織体制がひとつになりました。特養や通所など別々の事業ではありますが連携をしていき、都島友の会として地域を支えれるように、法人の信頼を更に築いていくように、これまで以上に精進していきます。



友渕地域在宅サービスステーション ひまわり
管理責任者 中田 純

この度、友渕地域在宅サービスステーションひまわりの管理責任者に任命された中田純です。都島友の会にお世話になり、はや四半世紀が経ちました。公私にわたり、様々な方に支えられながら今の自分があると感じています。いまこそ、恩返しの時です。ひまわりをさらに魅力あるデイサービスにするべく、スタッフ共々精進してまいります。我々の雄姿を見守ってください。



特別養護老人ホームひまわりの
副施設長 入江 武司

この度、特別養護老人ホームひまわりの郷の施設長を拝命しました入江武司です。この度の人事で、このような大役を任せていだくことになり、私がこのような大役を仰せられ、うれしい反面、責任の重さに身の引き締まる思いです。これもひとえに、皆さま方がの日頃のご支援のおかげです。心から感謝の意を申し上げます。

まだまだ若輩者で、施設の管理業務ができるのか不安に感じることもありますが、steady progressをモットーに頑張りたいと思います。

微力ではありますが、施設職員が一丸となって、入所者様に「いい施設」だと感じてもらうように、今まで以上に業務に邁進していくので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



特別養護老人ホームひまわりの郷 兼
友渕デイサービスひまわり 兼
訪問介護ひーぐるま
施設長 西平

七月一日より特別養護老人ホーム・友渕デイサービスひまわり・訪問介護ひーぐるま三拠点の施設長に就任いたしました西平哲（にしひら てつ）と申します。

入居者様、ご利用者様が、そしてそのご家族様が大切な家族を安心し預入出来る安全で楽しい施設、提供サービスの充実、そして、従事するすべての職員が満足して楽しく従事できる職場環境や労働環境の充実に向けて、誠心誠意努めてまいります。これからも地域に根差した施設づくりのためにも、皆様のご指導ご協力をよろしくお願ひいたします。

Festival



カフェテリアひまわり地域共生夏祭

年から地域福祉の拠点となる施設づくりをモットーに、今年で第2回目を迎えたカフェテリアひまわり地域共生夏祭り。

去年は7月末に開催した夏祭りでしたが、来場者の体調を気遣い、今年は、7月7日の七夕に開催することとなりました。梅雨の時期でもあり、天気も心配していたところですが、日々の行いが良かつたのか、前日、当日ともに晴天に恵まれました。

さて、祭りと言えば、まずは、準備。地域の方々にバルーンアートを飾つていただき、法人児童施設から物品を借り、ひまわりの郷職員は、当日の買い出しや慣れないテント張りで、汗だくになりながら、準備を行いました。

待ちに待った当日は、開催時間の10時前には、来場者が集まり、朝から大盛況でした。

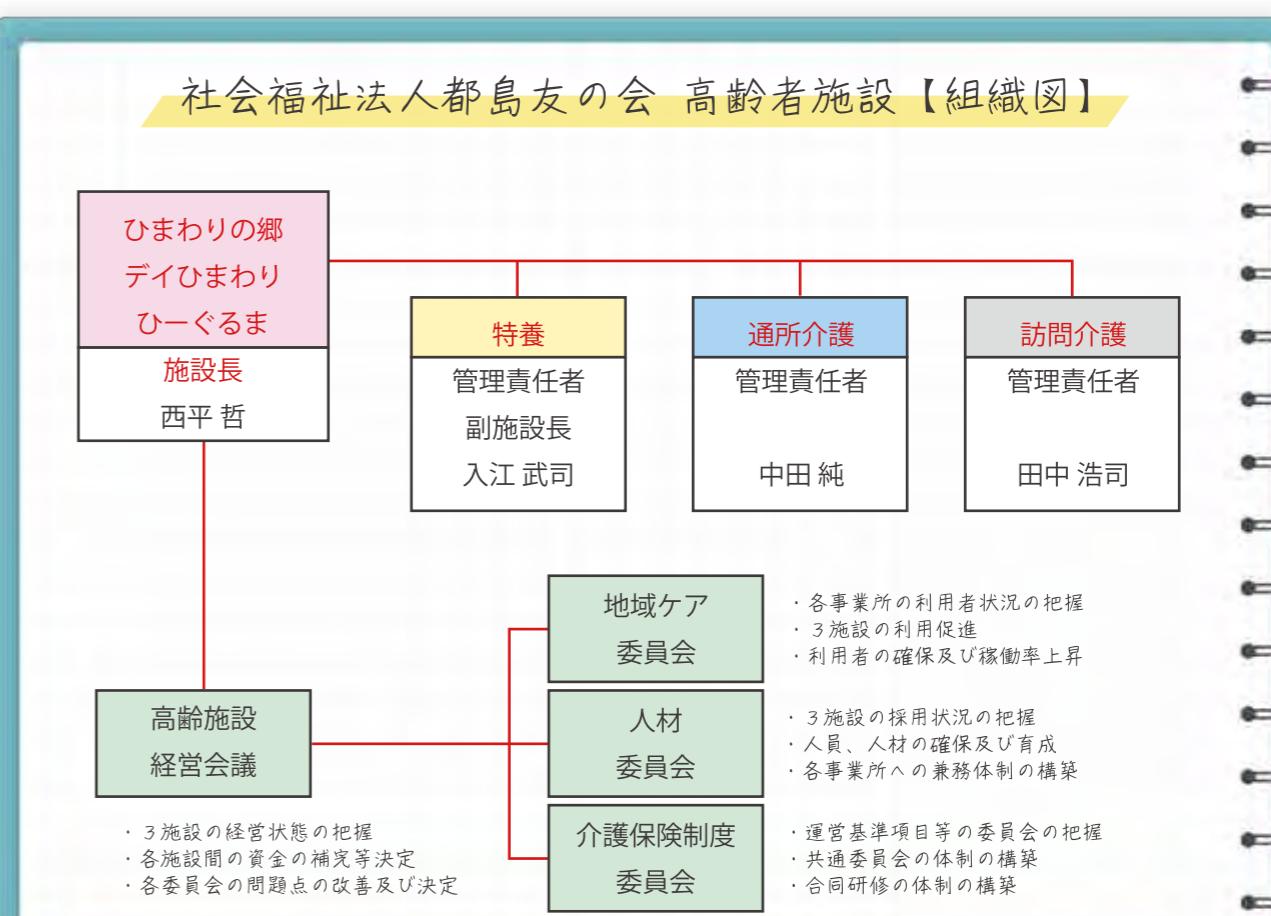
まずは、飲食ブースのご紹介。「たこせん」「フランクフルト」「冷やしきゅうり」「サーターアンダギー」「焼き鳥」を200食。「飲み物」「アルコール」を560本。

食事の方は、13時30分に完売で、大変申し訳なく感じております。遊びコーナーについては、ひまわりの郷の介護リーダーが、趣味であるUFOキャッチャード約100個の景品を取って寄付してもらい、豪華景品を目当てに、600回の輪投げをしていただきました。

大盛況になり、来場者数の把握は出来ておりませんが、1000人は軽く超えていたのではないかと思ひます。

乳幼児、障がいのあるお子さん、小中学生、保護者、高齢者が参加していくだけ、これだけ多くの地域の方と交流を図ることが出来て、夏祭りの名称通り、ひまわりの郷が、地域共生社会に貢献できることは、本当に良かったと思ひます。

これからも地域の方との関わりを大事にし、地域と共に歩んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。



社会福祉法人 日本保育協会 第18回 保育実践研究『優秀賞』受賞

社会福祉法人 日本保育協会 第18回 保育実践研究に応募し、「優秀賞」をいただきました。研究タイトルを「都島友の会の療育」すすべての子どもたちがかけがえのない存在」とし、まとめました。昭和40年代後半、都島区には3歳児よりの受け皿として都島保育所（現 幼保連携型認定こども園）は、都島地域からの要望で、大阪市水道局の公舎跡地に福祉施設をとの声もあり、保育所と老人憩いの家と障がい児通所施設を併設した設計が大阪市当局によって現実に向けて動き出しました。



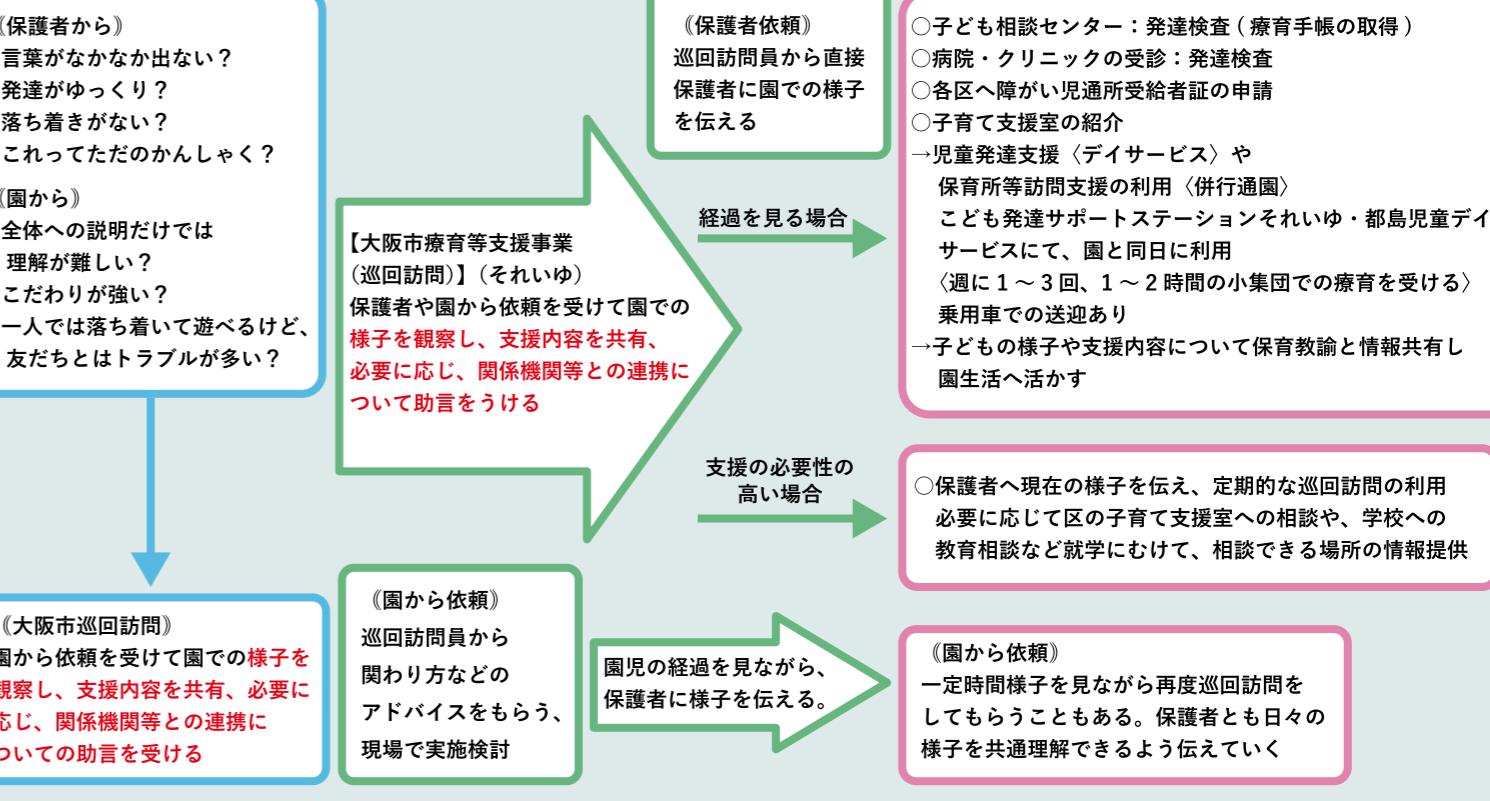
福祉サービス第三者評価受審

昭和51年6月都島東保育園（現 幼保連携型認定こども園）が、翌月同じ施設内に知的障がい児通所施設「都島こども園」（現 こども発達サポートステーション それいゆ）がオープンしました。また、昭和54年度から統合保育（当時は「混合保育」と呼ぶ）を開始しました。それ以来 法人の中でもこの二園は強いつながりを持つて障がい児保育を進めてきました。たゞ、昭和54年頃から、この二園は強いつながりを持つて障がい児保育を進めてきました。その後も、保育を継続しながら療育を受けた経験と支援の専門知識、実績があつたことや同一建物であることへの安心感をメリットにつつ、両施設を有効に活用し、日常の中での職員・こどもの交流を通して研修を行っています。これを見てください。



Point

こども発達サポートステーション それいゆ と 幼保連携型認定こども園 ひがみや児童センター とのつながり



PICK UP

ひまわりネットでの「いのち」を考える研修

質の高い教育・保育を目指して自らの資質向上に向けた取り組みを行っています。
『講師 島田妙子 氏』に「いのち」について講演していただきました。

←自らが虐待をうけた経験から、「児童虐待の予防」「大人の心を助ける」の活動を行っており、実体験にもとづいた書記も出版されています。

地域と保護者の皆様に支えられて

本部事務局 寄瀬 博光

保護者の皆様とともに、地域の皆様に支えられ歩んできた都島友の会。90余年の歴史の中で、親・子・孫の三代にわたり、児童センターに通つた方も多数おられます。このようなことから、地域の皆様には、子どもたちのために、利用者のためにと、永年にわたり色々な協力をいただいています。

スイカが8個、ピーマンやキュウリ・ゴーヤ・ジャガイモなどが採れ、子どもたちだけでなく、道行く人にも楽しんでいただいています。
7月の都島区内の夏祭りでは、都島神社、桜宮の子ども神輿や地車が、各児童施設や特別養護老人ホームひまわりの郷を訪問、太鼓などを披露され、身近で見た子どもたち・入居者は大喜びの一日でした。

ひがみや児童センター・こども発達サポートーションそれいゆ、特養ひまわりの郷がある東都島地域の皆様には、日頃から子どもたちの成長を見守つていただいているだけでなく、卒園式や行事の際には、施設の玄関を手作りのバルーンアーチで飾り、門出のお祝いをしていただいております。

7月7日の七夕の日、地域の皆様への感謝と法人各園の子どもたちのお楽しみとして、特養ひまわりの郷で夏祭りを開催しました。多数の皆様にお越しいただき、大賑わいの催しとなりました。

このほか、各児童センターの運動会などの行事に、地域の広場や公園、グラウンドを快く提供していただいております。

また各園の玄関では、朝夕の園児の送迎時間に、職員とともに地域の方々が、お迎えや自転車整理など、安全確保に一役買つていただいております。

このように、各施設の運営にあたり色々な場面で、地域の皆様のご協力とともにお支えがあり、各施設は感謝いたしております。

保護者の皆様とともに

各園には保護者会がありますが、その前身は、都島友の会の初代理事長比嘉正子が、青空保育園を始めた昭和6年に結成された『母の会』です。都島幼稚園の園舎建設など様々な場面で園を支えていただきました。

当会の歴史と同じく、母の会(保護者会)も90余年の歩みを共にしてございました。

資金はおろか食糧や遊び場さえなかつた都島友の会の運営を、戦前・戦中・戦後と、長い間支え続けていただけでなく、子育てに関する勉強会を開催するなど、母親同士そして女性同士の緊密な関係を築かれました。

その伝統は今も受け継がれ、各園では、夏祭りやバザーなど保護者会主催の様々な活動を展開されております。またその収益は、各園の子どもたちのため保育用品の購入など、ご協力をいただいております。

7月23日、保護者会役員懇談会が、10施設19名が参加し、都島児童センターホールで開催されました。コロナ禍もありましたので、各園の役員が一同に揃うのは久しぶりで、各園での取組みなどが報告され、有意義な意見交換となりました。

円滑な園の運営に、保護者の皆様のお支えをいたくことは言つまでありません。時機を見てまた懇談会を開催することとしています。



地域の皆様には

今回「ゆんたく39号」の冊子デザイナーの担当をさせていただきました都島児童館の米谷です。人生で初めての冊子1冊、20ページのデザインになります。各施設の子どもたちの素敵な写真や職員が熱い思いで書いた記事が皆様により良く伝わり、読みたくなるよう意識をしながら作成に携わりました。

都島児童館 米谷 楓哉

法人基本理念

社会福祉法人都島友の会は、多様な福祉サービスを総合的に提供できるよう創意工夫し、利用者の個人の尊厳を保持しながら、子どもたちの心身ともに健やかな育成と、個人が持っている能力に応じ、自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを基本理念とする。



発行人:渡久地 歌子

発行:社会福祉法人都島友の会 ゆんたく都島編集部 TEL:06-6921-0321 FAX:06-6924-2055
〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-4-3 <http://miyakojima.or.jp>